

2001 年 3 月 15 日第 9 回全國人民代表大會第 4 次會議批准

(抜粋)

第二篇 經濟構造

第三章 農業基礎地位の強化と農村經濟の全面的發展の促進

農業を一貫として國家經濟發展の首位に置かなければならない。全体的な資質と効率、収益を高めることを基礎とし、農業の持続的、安定した發展を保障し、早期に農民の収入を増加させる。

第一節 食糧生産能力の安定化

基本農地保護制度を厳格に執行し、2005 年までに全國の耕地面積を 12800 万 ha 以上確保して全國の耕地總量の全体的なバランスを維持する。

「種子工程」(タネによる増収事業)の實施、農田水利施設整備の改善、中低生産性農地改良の強化、商品食糧生産基地建設の内容及び配置等の調整措置をとることによって食糧生産能力を安定させる。食糧の主要生産地区に対する支持力を強め、食糧主要生産地区の生産の積極性を保護し、消費地区との長期的、安定した売買関係をつくることを奨励する。食糧の需給の基本的なバランスを確保する。

第二節 農民增收領域の拡大

農産物の加工転化、輸出の拡大等多様な方法をとって食糧等農産物の段階的な供給過剰の問題を解決する。

農産物の需給機構調整により、多ルート經營を發展させ、農家と市場が直面した高付加価値産品を生産することを導入する。

適度な規模經營を實行し、農業の機械化を推進し、労働力の生産効率を高め、農産物の生産コストを引き下げることを行う。

農家を多くの非農業産業に従事させ、積極的かつ計画的に農村の余剰労働力を移動させ調整する。

農家に直接增收が可能な有利なプロジェクトを多く実施し、農家の非農収入を増加させる。

第三節 農業と農村經濟構造の調整

農業と農村經濟構造の調整は、市場対応には科学技術手法に基づく農家及び農業の産業化經營企業を主体として、農業生産を更に広域かつ高水準に發展させなければならない。さらに品種改良、品質向上、効果収益向上を中心に積極的な作付け体系、品種と品質の構成を調整して良質多収高収益農業を發展させ

る。引き続き新疆の良質綿生産基地、長江流域の双低（低有害物質）菜種生産基地及び安全食品生産基地を建設する。

飼料作物の生産面積を拡大し、エサ場の整備を強化し、家畜、家禽の品種を改良して畜産業の発展を早め、2005年には畜産業の生産高が農業総生産高の33%を占めるように推進する。

水産業と水産水域の生態環境保全を強化し、積極的に水産養殖と遠洋漁業を発展させる。

農業生産の地域的な分布を合理的に調整し特色ある農業を発展させ、規模化、専門化の生産機構を形成させて商品化率を高める。

農産物の輸出を強化し、農産物の輸出生産基地を建設して、外貨獲得型農業を大幅に発展させる。

農産物の加工技術と設備の導入・開発のステップを速め、農産物の販売、蓄蔵・運輸、鮮度保持等業種を発展させて農産物の加工するレベルと効果・収益を高める。

農業サービス体系を積極的に改善し、計画・管理人材を養成して農業サービス体系の社会化を全面的に推進する。

農業の品質基準システム、農産物品質検測検証システム及び市場情報システムの建設を強化し、農業の業種基準と重要農産物品質基準の制定または改修を速め、国際基準の導入を普及し、農産物の標準化した生産モデル基地を創設する。

郷鎮企業の構成調整の推進、技術の進歩、システム新創意を導き支持して郷鎮企業の合理的な集合及び健康的な発展を促進する。

農業の産業化経営は農業現代化を推進する重要なルートである。「会社＋農家」、「生産請負農業」など多様な方法を取り入れることを推奨して農業の産業化経営を積極的に推進する。

農産物加工企業、販売企業、及び科学研究機関が農家を携えて市場に推出し、農家との利益共同享受、共同危険分担経営体制を形成することを支持する。

財政、税務、融資など面から優遇政策をとって、多くの重点龍頭企業（生産、市場、消費という一連の経済の有機的な流れを龍に例え、その龍の頭に位置する企業）の加速発展を援助する。

第4節 農業・農村基盤施設建設の強化

農田灌漑など農村の中小型の水利工事の維持管理と建設を改善し、引続き大型灌漑区に節水灌漑を中心にした補助設備の建設・改修を行い、節水増収モデル事業及び畑作物の節水灌漑モデル基地を建設する。

農村道路建設を支持して農村の道路状況を改善し、国家級貧困県の国道、県道との支線道路の建設を完成する。

メタンガス、省エネ竈など新エネルギーと新型省エネ技術を発展させて、農村エネルギーの総合建設を強化する。

農村電力ネットワークの改造を完成し、都市と農村との同価格電力使用制度を実現する。無電地区の解決に努力する。

農村通信基盤施設の建設を強化し、農村の電信料金を引き下げ、都市と農村と同価格にすることを実現する。

産地卸売市場を重点とし、農産物の市場施設の建設を強化し、農村市場システムを完備する。

第五節 農村改革の深化

農村土地制度の法制化を速め、長期的な安定した農家生産請負経営を基礎として、「統分結合」（集団による統一経営と農家による分散経営）の双層経営体制を安定させる。

長期的な土地の請負関係の維持を基盤として、積極的に条件の整った地区に土地に対し、土地の経営権の転貸制度改革を探求することを奨励する。

食糧生産と流通の新しい状況に基づき、異なる特徴を持つ生産消費地区に、引続き食糧流通体制の市場向けの改革を深化する。

食糧購入の保護価格制度、食糧備蓄及び危機管理基金制度を完備する。

全面的に農村の税制改革を推進し、郷鎮政府の職能を機能化させ、適度に郷鎮を撤廃・統合して人員の精鋭化と行政の簡素化を行い、村、組双方から手当をもらっている幹部の人数を減らし、徹底して農民の負担を軽減する。

農村の金融体制を改革し、農業に対する融資を増加させ、貸付方法を改善して金融機関のサービスを一層高める。

地域に適合した農村信用社体制（農村住民に金融面でのサービスを提供する協同組合）の改革を速めて、農村信用社の農村金融サービスにおける中心的役割りを十分に発揮させる。

農村科学技術体制の改革を深化し、農業科学技術への投入を増大し、農業科学技術の新しい開拓を支持し、農業科学技術の成果の普及を重点とした科学技術服務体系の建設を強化し、末端農業技術普及員グループの活動を安定させる。

第七章 基盤施設建設の強化、配置と構造の改善

第一節 水利建設の強化

水利建設は全面的かつ統一した計画に基づき、総合的な整備を実施しなければならない。利を興し害を除去する双方結合方策に基づき、洪水防御、旱魃対策に対処することを堅持し、洪水防止・災害減少を強化すると同時に、水資源不足と水汚染問題を解決することを重要視しなければならない。

全国水利建設全体計画と大江大河流域計画を科学的に制定し積極的に実施す

る。

大江大河大湖の洪水防御工事体系の建設と総合整備を重点として強化し、土砂堆積が大きい河川と湖沼に対する整備と浚渫を行う。長江と黄河を重点として堤防建設を強化する。

引続き長江三峡、黄河小浪底等水利事業の建設を促進し、黄河、沙坡頭、嫩江、リルキ、淮河臨淮岡、岷江紫坪鋪、水貝市、右江百色、塔里木河及び黒河の整備等水利建設を実施する。

遊水地区の安全建設を強化し、都市の洪水防御を強化するとともに、欠陥または危険性のあるダムの補強を急ぐ。合理的な水利施設建設と運営管理をスムーズに行う。

南水北調事業の前期工程を急ぎ、第10次5ヵ年計画期間内に早期に着工する。また、必要に応じて適時に流域変更による水資源調整を実施するなど、多様な計画を策定し北方地区の水不足問題を解決する。

第十四章 資源の節約・保護、永続利用の実施

第一節 水資源の持続利用可能性を重視

水源開発と流失抑制を重視し、節水を最優先に位置付ける。水の利用率を高めることを核として全面的に各種の節水技術と措置を普及して、節水型産業を発展させ、節水型社会をつくる。

都市建設及び工農業配置計画策定においては、水資源の需給を十分に考慮しなければならない。

農業節水に力を入れ、灌漑用水の損失を減少させ2005年までの有効利用係数達成目標を0.45とする。

水資源の需給調整を行い工業の立地計画を策定し、企業の節水技術改良を促進させ、2005年までに工業用水の再利用率の達成目標を60%とする。

都市の節水事業を強化し、水を浪費する諸器具や設備を強制的に淘汰して節水器具や設備を普及する。

第二節 土地、森林、草原、海洋、及び鉱産資源を保護する

耕地を保護する基本国策を堅持し、土地利用全体計画を実施し、各種建設耕地を統一計画に基づき按排し新增建設用地の規模を合理的に抑制する。

都市・農村及び工鉱業用地に対する整理、土地復墾（再農地化）への努力を強化する。

工業区、市街密集区、専門化農産物生産基地、生態保護区等異なる用地状況によって合理的な土地利用計画を策定する。

資料 8. 湖北省国民経済と社会発展第 10 次 5 年計画綱要

2001 年 2 月 18 日湖北省第 9 回人民代表大会第 4 次会议批准
(抜粋)

農業の基礎地位を強調し強化する。引き続き農村改革を深化し、農民の積極性を發揮させ保護する。

市場を抛り所とし、制度改善と科学技術の進歩を原動力とし農業増益・農民増収及び農村安定を目標とし農業と農村経済構造の戦略性調整を早め、農業産業化運営、郷鎮企業二次創業、及び小城鎮（農村における町）建設を積極的に推進し、農村服務業務を大幅に発展させる。

三. 経済と社会発展の重点領域及び主要任務

——農業構造調整の推進

我が省の農業資源の多様な地域的優位性を十分に發揮させ、それに合わせて農業構造を調整するとともに、優位産品、良質産品、特産品及び安全食品の育成を重点とし、特色のある先導的産業と地域構造を形成させる。粗放的な経営から集約的な経営へ、及び伝統農業から現代農業への転化を促進し、先進的かつ実用的な栽培・養殖技術を大いに普及し、特に「種子工程」（品種改良事業）を実施して農産品の品質を高めていく。農民の土地使用権を変更しないことを前提条件として、自由意志・有償使用を原則に土地使用権の合理的移転に関する新しい体制を積極的に探求して土地の集約化の歩調を早める。都市の先進生産要素が農村のその土地特有な優勢を誇る資源と融合して優位な産業を形成することを奨励する。国際市場を狙って、対外型農業を提唱し発展させ、安全食品基地の建設を早め、農産物の銘柄品を創造する。食糧生産の総合的効果・収益を努力して高め、綿の生産を安定させ、油料、肉類、家禽の卵、水産品、及び主要換金作物産品の生産量の安定増産を維持する。具体的な農産物の生産量に対しては、市場の需給状況に応じて年度毎に計画を立てる。農産物の商品化率、良質率、転化増値率と耕地の産出率を努力して高める。

栽培農業については、食糧生産の重点は四湖地区、丹江灌漑区、漢水流域、大別山南部沿江地区における良質米生産、及び湖北省北部丘陵地帯の良質小麦・雜穀生産を発展させる。綿はその主要生産区と高収量区の面積を維持し、良質綿生産基地の建設を強化し全体の効果・収量を高める。油料作物は生産面積を拡大し、鄂（湖北省の略称）東南部、江漢平原、鄂中北部、鄂西南部の油料作物生産を重点的に振興させ、「双低」（二つある有害物質の含量が低い）菜種を全面的に普及する。また特色ある果物産業の振興を最優先し、温州蜜柑、柑橘を主とする長江、清江、大型ダム周辺に果物生産地帯及び鄂南にキュウイ生

産基地を建設する。銘柄、良質、特色等を持った野菜の栽培を奨励し、寒冷な高山地帯では重点的に反季節無公害野菜（夏に化学合成資材の投入を低くして栽培した冬野菜）栽培を奨励する。引き続き良質の茶、コンニャク等の特産換金作物栽培を奨励していく。

畜産、内水面水産業においては、引き続き豚、牛、羊、家禽、及び特殊家畜を重点として畜産業を振興し、瘦肉型良質豚（白身が少なく肉質の良い豚）と地域的特色を持った家禽類飼育の比重を高める。農地から耕作を撤退させ林、草地に戻す事業を行うと共に、牧草地の整備を強化して草食主体の穀類飼料節約型畜産業を振興し、漢水流域の肉用牛、清江流域の肉用羊、長江流域の良質豚・家禽及び鄂東部山間地帯の特殊動物等の生産基地を重点として建設する。飼料の生産構造を改善する。特色のある良質な銘柄水産品の養殖規模を拡大して品種改良を早め高効率な生態系水産養殖業を重点として発展させ、養殖の工場化を積極的に推進し、土地柄に合わせてダムと水田養殖を普及させ、水産品の精加工・深加工（付加価値を付ける加工）を良くし、大量に取れる水産品の生産を良くすると同時に保健、観賞、工芸水産品の生産の発展を促進する。全国向けの稚魚繁殖基地を建設し、土地柄に合わせて水生換金植物と水生蔬菜の生産を発展させる。

林業については、生態環境の建設を進めると同時に、国家専売法令に従って林業経営システムを調節し改善する。生態林を重点的に建設し、生長が速く収量が多い用材林、工業原料林、及び高効率経済林を適宜発展させ、林産品の供給を保障する。特色ある林業とその産品を大幅に発展させ、特色のある良質な新しい銘柄産品を大量生産し産業化させる。

新興農業については、大中都市郊外の異なる類型の農業高度新技術産業園の建設を早め、積極的に花卉産業、園芸農業、観賞農業、旅行観光農業及び休閒農業（参観者がリラックスできる場を提供する農業）を発展させる。

——農業産業化経営の推進

市場を拠り所として、地域的な優位性を発揮させ、商品生産基地の建設を優勢産業の形成や龍頭企業（生産、市場、消費という一連の経済の有機的な流れを龍に例え、その龍の頭に位置する企業）の発展と緊密に結合させていく。龍頭企業を支持して壮大になることに力を入れ、龍頭企業が小城鎮に集中することを導く。農産物加工を良くし農村社会化服务体系を完備し生産前、生産中、生産後サービスを提供し農民が産業化経営に参加することを促し、集約化、専門化させる。工商企業、科学研究部門、大学・専門学校が資金と技術を株にして龍頭企業をつくることを奨励する。農業高度技術を持つ龍頭企業を重点として支持して研究、開発、生産、販売の一体化した企業集団になるように推進して高度新技術の成果の活用を促進し、先進実用技術を大いに普及し徐々に農業現代化レベルを上げる。

科学的かつ合理的な利益分配体制を確立し改善する。龍頭企業、生産基地及び農家が共同契約、株式組合、価格保護とサービス、利益分配など多様な形式で緊密な利益共同体を形成することを促進する。

資料 9. 財政的自立発展の見通し

(1) 必要経費調達の見通し

本センターは、2001 年から 5 ヶ年間に必要な経費は次の通りである。2001 年 2 月、プロジェクト管理事務室から省科技厅へ提出した。

行政事業費	150.00 万元
科研費	500.00 万元
科技推進費	100.00 万元
重点実験室建設費	300.00 万元
農田水利建設経費	300.00 万元
農業総合開発	150.00 万元
地方交付	150.00 万元
合計	1600.00 万元

(2) 公的補助及びその安定性の見通し

プロジェクト管理事務室から 2001 年 2 月に提出された経費にかかる公的補助の見通しは、下記のとおりである。

国家科技部重点攻関項目	300.00 万元
国家教育部專項款	200.00 万元
国家科技部及省科技厅推進費	100.00 万元
国家水利部農田水利建設工程款	200.00 万元
湖北省财政厅農業総合開発專項款	150.00 万元
湖北省科技厅 1 5 攻関項目経費款	200.00 万元
湖北省教育厅專攻基金	100.00 万元
湖北省農業庁項目專項款	100.00 万元
湖北省水利庁項目專項款	100.00 万元
湖北農学院等部門項目款	150.00 万元
合計	1600.00 万元

(3) 自主財源による費用回収状況

自主財源による費用回収はプロジェクト管理事務室においてつぎのように計画し、2001年2月、プロジェクト管理事務室から省科技厅に提出した。

科技開発収入	250.00 万元 (工程建設、農業開発を含む)
人材研修収入	100.00 万元
専門家宿舎収入	30.00 万元
合計	380.00 万元

(4) リカレントコスト負担の必要性及び妥当性

本センターは、プロジェクト終了後も、省級の研究機構として、これ迄以上の新技術の研究開発及び啓蒙普及を展開するため、毎年一定のリカレントコストが必要でありプロジェクト管理事務室において以下のように計画し、2001年2月プロジェクト管理事務室から省科技厅へ提出した。

職員給与	30 万元
工程建設費	50 万元
科技経費	80 万元
試験場経費	50 万元
圃場建設費	50 万元
実験室建設費	50 万元
行政事業経費	50 万元
研修費	10 万元
合計	350 万元